

令和4年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業時における「導入」を工夫することにより、児童の学習に対する関心・意欲を高め、主体的に学ぶ児童が増えた。
- ・ICT機器を活用することにより、用具の正しい扱い方や作品制作の手順について、児童の理解を深めることができた。
- ・児童個人が発想したことを全体で共有したり伝え合ったりすることにより、対話的な学習が行われ、児童が自分の考えを広げたり深めたりすることができた。

(2) 課題

- ・児童の学びに対する意欲に個人差があり、関心をもって主体的に学ぶことができない児童もいる。
- ・用具の正しい扱い方や作品制作の手順について、理解するのに時間がかかったり理解が難しかったりする児童がいる。
- ・表したいことを見付けたり表し方を工夫したりすることが苦手な児童がいる。

2 観点別分析

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・材料や道具の特性を理解し、手や体全体の感覚などを働かせて表そうとしている。 ・表現の技能には個人差があり、手や体全体の感覚の継続的な育成が必要であると考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の形や色などから造形的なよさを思いつき、どのように表すかを考えながら学習している。 ・好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の活動では、ほとんどの児童が主体的に取り組んでいる。 ・表現の活動では、学びに対する意欲に個人差がある。気持ちが散漫になり、一つの表現に集中することが難しい児童もいる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・材料や道具を適切に扱い、前学年までの経験を生かしながら手や体全体を働かせて表そうとする児童が多い。 ・表現の技能には個人差があり、手や体全体の感覚の継続的な育成が必要であると考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、どのように表すかを考えながら学習している。 ・形や色、材料などを生かしながら、表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の活動では、ほとんどの児童が主体的に取り組んでいる。 ・表現の活動では、学びに対する意欲に個人差がある。気持ちが散漫になり、一つの表現に集中することが難しい児童もいる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法に合わせて材料や道具を選ぶことができる児童もいる。前学年までの経験や技能を生かして表そうとする児童もみられる。 ・表現の技能は個人差が大きい。活動の経験を増やし、表す力を継続的に育成する必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを積極的に見つけようとする児童もいるが、発想や構想の力は個人差が大きい。「美しい!」「表したい!」と感じる経験を増やし、表現力を高めたいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の個人差が目立つ。高い意欲で自分の表現に主体的に取り組む児童がいる一方で、気持ちが散漫になり、学習に集中することが難しい児童もいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にし、材料や用具の特性を理解させる。 ・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより表現の工夫に気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、めあてを明確にもたせて表現に取り組ませる。 ・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、学習意欲を高める。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にし、材料や用具の適切な扱い方を理解させる。 ・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより造形的なよさに気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、めあてを明確にもたせて表現に取り組ませる。 ・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、意欲を高める。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの経験を振り返らせ、自分のもつ経験や技能が生かせることを感じさせる。 ・ICT機器を活用し、材料や用具の適切な扱い方を理解させる。 ・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより造形的なよさや美しさ、表現の意図に気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。 ・それぞれの児童が興味をもっていることを表現に生かすよう指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、具体的なゴールを明示して学習に取り組ませる。 ・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、意欲を高める。